

# プレス公表（運転保守状況）

発生日

2023年7月24日

号機

1

件名

原子炉複合建屋（管理区域）における水の漏えいについて（区分：Ⅲ）

## 【事象の発生】

2023年7月21日午後11時16分頃、1号機原子炉複合建屋地下3階の蒸留水ポンプ・タンクエリアにおいて、タンクの水抜き作業を行っていた協力企業作業員が、水たまりを確認しました。その後、タンクから排水するための弁を閉止し、水の漏えいは停止しました。漏えい量は約240Lと推計しています。

現場を調査したところ、排水配管の詰まりにより排水口から水が溢れたものと推定しております。

なお、漏えい水から放射能は検出されておらず、外部への放射能の影響はありません。

## 【対応状況】

配管内の詰まり除去作業や流水操作を実施し、詰まりは解消しております。

詰まっていた物質を分析したところ、鉄分が確認されたことおよび色（茶色）等から細かい錆が堆積したものと推定しております。

引き続き、原因調査と再発防止策を検討してまいります。

（2023年8月10日までにお知らせ済み）

## 【原因】

詰まりが発生した排水配管内に腐食を確認しました。

詰まりの原因は以下と推定しています。

①上流にある配管内の細かい錆や埃などが排水操作時に水とともに流されてきて、当該部位に付着

②付着した錆や埃が、排水操作終了後に乾燥することで硬化し、錆や埃などがさらに付着しやすい状況となる

③断続的な排水により①と②が繰り返され、配管の詰まりが発生

## 【対策】

対策として、以下を実施します。

・詰まりが確認された当該排水配管の交換を行います。

・今後、今回と同様な箇所について調査を行います。

# プレス公表（運転保守状況）

発生日

2023年8月14日

号機

-

件名

屋外正門エリアにおける体調不良者（熱中症）の発生について（区分：Ⅲ）

## 【事象の発生】

2023年8月10日午後2時00分頃、屋外正門エリアにて警備業務に従事していた警備員が体調不良となり、休憩をとっておりましたが体調が回復しないことから、午後3時22分病院へ搬送致しました。

本人に意識はあり、症状は吐き気を有していますが自立歩行は可能な状態です。

## 【対応状況】

病院での診断の結果、「熱中症」と診断されました。当該警備員は、点滴治療を受け症状は回復しております。

発電所関係者へ業務開始前の体調確認や、休憩、適度な水分および塩分等のミネラル補給を心がけるよう、あらためて注意喚起を行います。

(2023年8月14日にお知らせ済み)

②

# プレス公表（運転保守状況）

発生日

2023年8月25日

号機

-

件名

発電所屋外エリアにおける体調不良者（脱水症）の発生について（区分：Ⅲ）

## 【事象の発生】

2023年8月23日午前10時00分頃、発電所構内の屋外で作業に従事していた協力企業作業員が体調不良となり、休憩をとっておりましたが、体調が回復しないことから、午前11時06分病院へ搬送致しました。  
なお、本人に意識はあり、自立歩行は可能な状態でした。

## 【対応状況】

病院での診断の結果、「脱水症」と診断されました。当該協力企業作業員は、8月23日、24日に点滴治療を受け症状は回復しております。  
発電所関係者へ業務開始前の体調確認や、休憩、適度な水分および塩分等のミネラル補給を心がけるよう、あらためて注意喚起を行います。

(2023年8月25日にお知らせ済み)

③

# プレス公表（運転保守状況）

発生日

2023年8月29日

号機

-

件名

発電所屋外エリアにおけるけが人の発生について（区分：Ⅲ）

## 【事象の発生】

2023年8月26日午後3時頃、発電所構内の屋外で、床へのアンカ打設作業※に従事していた協力企業作業員が、右足太ももに痛みを感じたため確認したところ、出血を確認しました。

自力歩行可能ですが、念のため医療機関での診察のため病院へ搬送しました。

※アンカーボルトを用いて、コンクリートとベースプレート（コンクリートの上に設置する鋼板）を固定するための作業

## 【対応状況】

病院で診察の結果、「右大腿皮下異物」と診断され、異物はアンカ打設に用いたハンマーの破片（5mm程度）であることが確認されました。

今回の事例を踏まえ、発電所関係者に周知し注意喚起を行うとともに、再発防止に努めてまいります。

（2023年8月29日にお知らせ済み）

④

# プレス公表（運転保守状況）

発生日

2023年9月13日

号機

-

件名

第二企業センターにおける体調不良者（熱中症）の発生について（区分：Ⅲ）

## 【事象の発生】

2023年9月12日午後0時30分頃、2号機循環水ポンプ建屋で物品の運搬に伴う車両の運転、および作業の監視業務を実施していた協力企業作業員が、午前中の作業を終え、当該企業の執務室に戻ってきた際に体調不良を訴えたため、健康管理室にて休息していました。

その後、体調が回復しないことから、午後2時00分に業務車にて病院へ搬送いたしました。

なお、本人に意識はあり、自立歩行できる状態でした。

## 【対応状況】

⑤ 病院での診断の結果、「熱中症」と診断されました。当該作業員は、点滴治療を受け症状は回復し、本日より出勤しております。発電所関係者へ業務開始前の体調確認や、休憩、適度な水分および塩分等のミネラル補給を心がけるよう、あらためて注意喚起を行います。

(2023年9月13日にお知らせ済み)

## 【参考】プレス公表 継続対応件名リスト

---

号機	5	件名	原子炉建屋1階ケーブルトレイ貫通部からの空気の流れの確認について（区分：Ⅲ）	発生日	2022年8月17日
号機	3	件名	油漏えいに伴う低起動変圧器の停止について（区分：Ⅲ）	発生日	2023年8月4日
号機	6	件名	中央制御室換気空調系給気エアフィルタ破損について（区分：Ⅲ）	発生日	2023年8月8日